

インフルエンザワクチンの予防接種をご希望の方に（説明書）

1. ワクチンの効果と副反応

インフルエンザワクチンは不活化ワクチンであり、また、流行株の抗原性が変化しますので毎年接種することが必要です。インフルエンザワクチンは毎年、流行するウイルスを予測し、そのウイルスをワクチン株としてつくられます。ワクチンの有効性については以前から論議があります。ワクチン接種による、重症化の防止に対する有効率は、60～70%といわれています。ワクチンを接種しても感染する可能性はあります。インフルエンザにかからない有効率は明確にはわかりません。症状で判断すると、インフルエンザではない、いわゆる「カゼ」が紛れ込む可能性が出てきます。その時、当然ワクチンの効果はありません。

副反応

①局所反応

接種局所に発赤、痛み、圧痛、かゆみ、腫れが12～24時間後にみることがあります。成人の方が多く認められます。（およそ20%）

②全身反応

成人で短時間の発熱を48時間以内に認めることがあります。（1%未満）他に小児を含め、嘔吐、頭痛、体のだるさを感じるがありますが、一時的なものです。

③過敏性反応

ワクチン成分によるアレルギー反応がでることがあります。早い反応では接種後15分～30分で症状が出ます。じんましん等の症状から全身的なショック症状まで程度はさまざまです。

2. 次の方は接種を受けないで下さい

- 1) 明らかに発熱している方
- 2) 重い急性疾患にかかっている方
- 4) **重症の卵アレルギーの方**（アナフィラキシーを経験したり、血液検査でおおよそスコア5以上）
＜卵入りのクッキーやフライを食べても何ともない場合や、湿疹が少し出る程度なら接種可能です。但し、親御さんがご心配のときは接種は控えて下さい＞
- 3) その他、医師に接種が不適当な状態であるという診断を受けた方

3. 次の方は接種前に医師とご相談下さい

- 1) 高齢者（65歳以上）の方
- 2) 妊娠又は妊娠をしている可能性のある方
- 3) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患のある方
- 4) 前回の予防接種で2日以内に発熱のみられた方又は全身性発疹等のアレルギーを疑う症状が出たことがある方
- 5) 過去にけいれんの既往のある方
- 6) 過去に免疫不全と診断を受けた方
- 7) インフルエンザワクチンの成分又は鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アレルギー反応を起こすおそれのある方

4. 接種を受けるときに

インフルエンザワクチンの接種は任意接種ですので、ワクチンの効果、副反応等をお考えになつたうえ、ワクチンの接種を受けるかどうかをお決めください。もし、ふだんと変わったことがあった場合には医師にご相談下さい。

5. 接種量

6ヶ月～3歳未満	1回	0.25ml
3歳以上	1回	0.5ml

6. 接種回数、費用

回数 13歳未満は2回接種（2～4週間隔）、13歳以上は1回でも可（2回を推奨）
（4週間あけるのを推奨）

費用 接種時年齢 (消費税込)	6ヶ月～3歳未満	1回	3300円
	3歳～13歳未満	1回	3700円
	13歳以上	1回	4300円

6. 重篤な副反応発生時の救済制度について

今回の新型インフルエンザワクチン接種を受けた方が、ワクチン接種によって重篤な副反応が発生した場合は、医療費及び医療手当等、予防接種法の定期予防接種に準じた一定の給付を行う制度があります。

健康被害救済制度の相談窓口

TEL 03-5253-1111(内線 2100,2078) FAX 03-3581-6251

受付日・時間：平日 10時～18時